

(様式2)

健やか食育プロジェクト事業報告書

健康福祉事務所名 宝塚健康福祉事務所

1 食育推進体制の整備

食育推進課題	<p>働きざかり世代への生活習慣病予防に向けた対策は喫緊の課題であるが、これらの世代は健康づくりのために時間を割く余裕がないことも多く、自治体等の啓発活動への参加率も低いことから食育の機会を得にくい世代である。</p> <p>管内では給食施設に該当する事業所が34施設あるが、うち利用者状況（肥満・やせ）の把握ができているのは9施設（約26%）、健康・栄養情報の提供は24施設（約70%）にとどまり、食環境整備に向けた取組みが不十分である。</p>
今年度の推進方策	<p>初年度は宝塚市内のモデル企業を対象とし、“食を通じた社員の健康づくり”をテーマに、働きざかり世代の食に関する実態調査と実践事業を実施し、企業主体の食を通じた健康づくりに取組む企業の増加を目標とする。また、食育関係機関・団体と企業等の働きざかり世代との連携強化を目指す。</p>
成果	<p>食環境整備の必要性を理解し、第一歩として利用者の状況把握や健康づくりに前向きな企業は増えつつある。</p> <p>行政・栄養士会は、働きざかり世代へのアプローチに課題を感じている一方で、依頼があれば出前講座をしたいという前向きな思いを抱えていることがわかった。会議を通じ、食育関係機関・団体と働きざかり世代の顔の見える関係を構築できたと考えられる。</p>
今後の方向性	<p>企業側からは事業評価や上司の理解、継続が難しいという声もあった。そのため、今後は個別巡回も活用しながら、企業主体の食を通じた健康づくりの事例収集と情報発信、事業実施後の成果の見える化についても検討を進める。</p>

2 会議の開催状況

実施日時	平成30年2月23日（金）14:00～15:30
参集者 (団体数 及び人数)	○(株)ハイレックスコーポレーション ○栄養士会（2団体） ○金井重要工業(株)不織布製造所 ○市栄養士(宝塚市・三田市) ○三菱マテリアル(株)三田工場 (計7団体7人)
協議内容	○情報提供「兵庫県食育推進計画（第3次）について」 ○実践報告「平成29年度健やか食育プロジェクト事業 実践活動 ～社員食堂を通じた健康づくりの輪を広げよう～」 ○情報提供「企業における食を通じた健康づくりに向けた取組」 ○協議・意見交換 テーマ「働きざかり世代のさらなる食育の推進に向けて」
今後の方策	今後も引き続き、事業所給食施設を中心に会議への参加を呼びかけ、参加企業数の増加に努める。

※会議の議事録、参集者名簿を添付すること。

3 食育実践活動の結果

テーマ	社員食堂を通じた健康づくりの輪を広げよう		
対象及び参加者数	第1回 (株)ハイレックスコーポレーション及び 金井重要工業(株)不織布製造所社員 345人 第2回 金井重要工業(株)不織布製造所社員 約80人 第3回 (株)ハイレックスコーポレーション社員 48人		
事業内容	日時・場所	内 容	講師・運営スタッフ
	平成29年 7～8月	働きざかり世代の食に関する アンケート調査	○(株)ハイレックス コーポレーション ○金井重要工業(株) 不織布製造所 ○宝塚健康福祉事務所
	平成29年 10月10日(火) 12:15～13:00	食育体験コーナーの設置 ・白飯計量体験 ・フードモデル展示 ・食事時間測定 ・リーフレット配布	○金井重要工業(株) 不織布製造所 ○武庫川女子大学※実習生 ○宝塚健康福祉事務所
	平成30年 2月6日(火) 17:30～18:00	健康講話 『高血圧を予防しよう！ 未来を守る減塩の話』	○(株)ハイレックス コーポレーション ○宝塚健康福祉事務所
成 果	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート調査より働きざかり世代の約半数は現在の食生活に「少し問題がある」or「問題が多い」と感じている。 4人に1人は生活習慣病と診断されたことがある。 実践活動を通じ、モデル企業の内1社では社員食堂の献立選択に改善(高エネルギーメニューの選択者が減少)傾向がみられ、一定の行動変容に繋がったと考えられる。 <p>【評価指標と目標値及び達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者状況把握をしている施設数の増加 現状9→今年度末11(2施設の増加) ※最終目標施設数17施設 健康・栄養情報の提供をしている施設数の増加 現状24→今年度末24 ※最終目標施設数31施設 		
今後の課題	<p>働きざかり世代を対象とした初年度の実践活動は、健康福祉事務所が主体となって取組んだ部分も多かった。今後は企業が実施主体となるよう各市健康部門、地域の栄養士会等と働きざかり世代を繋ぐパイプ役を担い、働きざかり世代を対象とした食育が地域で継続・拡大していくための体制整備を行う。</p> <p>また、食を通じた健康づくりには消極的な企業も多いのが現状であり、引き続き会議や個別巡回等を通じ食環境整備の充実に努める。</p>		

※プログラムや内容がわかる資料を抜粋し添付すること。

社員食堂を通じた健康づくりの輪を広げよう

事業背景

働きざかり世代への生活習慣病予防に向けた対策は喫緊の課題。一方で、これらの世代は健康づくりのために時間を割く余裕がないことも多く、自治体等の啓発活動への参加率も低いことから食育の機会を得にくい世代である。

事業のねらい

- 食を通じた健康づくりに取組む企業の増加
- 食育関係機関・団体と企業等の働きざかり世代との連携強化

実践活動①

働きざかり世代の食に関するアンケート調査

対象

宝塚市内のモデル企業 2 社

有効回答数 345 人（男性 283 人、女性 61 人、※未記入 1 人）

○金井重要工業株式会社不織布製造所

○株式会社ハイレックスコーポレーション

実施期間

平成 29 年 7～8 月

※モデル企業 2 社共通※

結果の概要

- ① 5～6 割の方が現在の食生活に「少し問題がある」または「問題が多い」と感じており、全県の調査結果と比較し高い傾向にある。
- ② 男性の約 4 人に 1 人はこれまでに何らかの生活習慣病であると診断されたことがあり、内訳としては、高血圧が最も多い。

働きざかり世代の食に関するアンケート調査

この調査結果は、調査対象の働きざかり世代の食生活に関する傾向、現在の食生活の実態や生活習慣病の発症率などを把握するために実施しています。調査結果は、調査対象の働きざかり世代の食生活に関する傾向、現在の食生活の実態や生活習慣病の発症率などを把握するために実施しています。

- 性別 男性 女性
- 年代 20代 30代 40代 50代 60代
- 性別・年齢について、 男 女
- 自身の食生活についてどう感じますか？
 大変よい よい 少し問題がある 問題が多い 無効

【現在の食生活について】

現在の食生活について、健康的な食生活を送っていますか？
 はい いいえ

【食生活の改善について】

健康的な食生活を送るために、何か改善点がありますか？
 はい いいえ

【生活習慣病の発症について】

生活習慣病（糖尿病、高血圧、脂質異常症など）は診断されていますか？
 はい いいえ

【生活習慣病の発症について】

生活習慣病（糖尿病、高血圧、脂質異常症など）は診断されていますか？
 はい いいえ

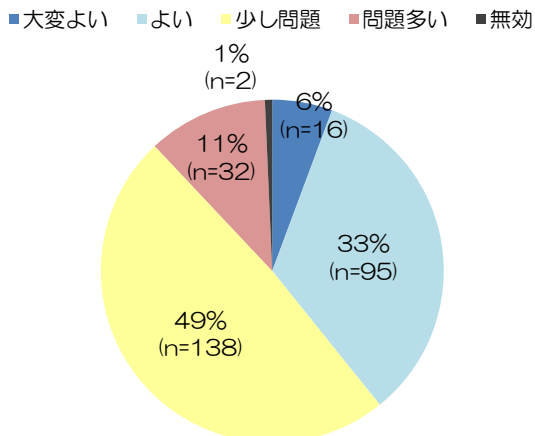
【生活習慣病の発症について】

生活習慣病（糖尿病、高血圧、脂質異常症など）は診断されていますか？
 はい いいえ

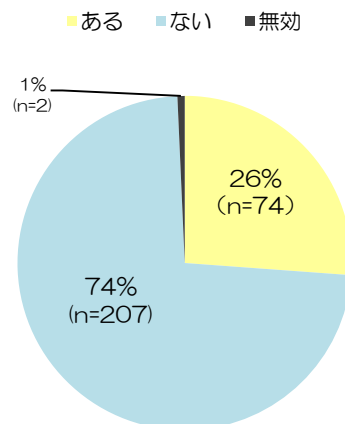
【生活習慣病の発症について】

生活習慣病（糖尿病、高血圧、脂質異常症など）は診断されていますか？
 はい いいえ

現在の食生活をどのように感じますか？
※男性のみ抜粋



生活習慣病（糖尿病・高血圧・脂質異常症など）と診断されたことはありますか？
※男性のみ抜粋



実践活動②

食育体験コーナーの設置 -社員食堂の食環境整備-

対象 金井重要工業株式会社
不織布製造所社員 約 80 人

日時 平成 29 年 10 月 10 日 (火) 12:15~13:00

実施内容 ○白飯計量体験 ○フードモデル展示
○食事時間測定 ○働きざかり世代向け
食育リーフレット配布



普段食べている「白ごはん」は
どのくらいのエネルギーが
あるのだろうか???



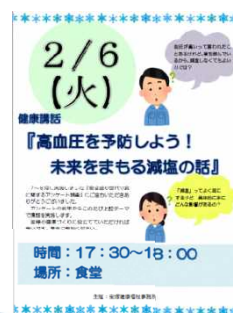
実践活動③

講話『高血圧を予防しよう！未来を守る減塩の話』

対象 株式会社ハイレックスコーポレーション社員 48 人

日時 平成 30 年 2 月 6 日 (火) 17:30~18:00

講話内容 ○高血圧とは？
○なぜ減塩がいいの？
○実践！今日から早速始めよう減塩
○減塩にまつわるよくある質問



当日は予想以上の参加者があり、食塩の
他「アルコールと高血圧」に関する質問も
多くありました！

健やか食育プロジェクト会議

日時 平成 30 年 2 月 23 日 (金)
14:00~15:30

対象・参加者数 事業所給食施設、栄養士会、市など計 7 団体 7 人



《結果・今後に向けて》

会議を通じ、食育関係機関・団体と働きざかり世代の顔の見える関係づくりが
できた。今後は各市健康部門、地域の栄養士会等と働きざかり世代を繋ぐパイ
プ役を担い、働きざかり世代を対象とした食育が地域で継続・拡大していくた
めの体制整備を行う。

また、食を通じた健康づくりに取り組む企業の増加に向け、会議や個別巡回等
を通じ食環境整備の充実に努める